

教職大学院・附属教育実践総合センター合同企画 0年次研修「新任教員Welcomeセミナー」

令和7年2月26日、教職大学院と附属教育実践総合センターの合同企画として、卒業を間近に控えた大学院生と学部4回生を対象にした0年次研修「新任教員Welcomeセミナー」を実施しました。

当日は、教職大学院現職教員 12名、教職大学院学部新卒のM2 6名、M1 3名、学部4回生 3名、教職大学院学部新卒OB 1名の合計25名が参加しました。

セミナーでは、教職大学院の現職教員が総合司会を務め、6～7名のグループに分かれて話をしました。15分ごとにテーマとメンバーを変え、現職教員からアドバイスを聞いたり、質問をしたりしました。

【5つのテーマ】

- ①学級経営
- ②生徒指導・保護者対応
- ③働き方
- ④フリーテーマ
- ⑤校種別フリートーク

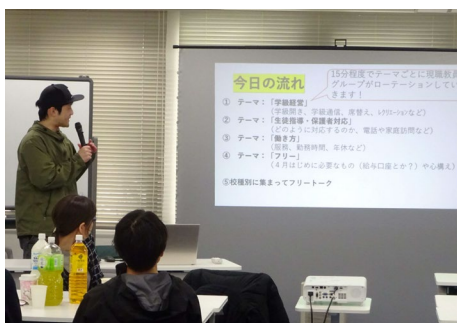


参加した学生からは、

- 授業づくりから、有給休暇などの「聞いてみたいけど職場ではちょっと聞きづらいなあ…」と思っていたようなお話に至るまで、色々なテーマでざっくばらんに、ゆったりとお話しできる機会を設けていただき、大変有難かったです。(中略)先輩教員の体験を踏まえた具体的なアドバイスをいくつもいただくことができ、心がける事が分かったと共に、不安の解消にも繋がりました。
- 具体的な仕事内容(学級開きやホームルーム)についての説明があり、自分がどのように働くのかを具体的にイメージすることができました。実際の業務の流れや職場の雰囲気を知ることで、少しずつ働くことへの自信がついてきたように感じます。

という感想が聞かれたほか、先輩であり同じ大学院にいる現職教員に話を聞けるという点から、「アットホームな空気感で堅くなることなく話ができた」や「自分から積極的に質問することができた」という感想も聞かれ、現場に出るまでに知っておきたいことについて質問することができ、4月に向けて見通しを持つための良い機会となりました。

本学では、今後も、学生のニーズに寄り添った活動に取り組んでまいります。



参加者募集時のチラシ

- ◆ 本活動は、令和6年度から「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業」の一環として実施しています。
- ◆ 本活動は、教職大学院の大橋宏星准教授および、教育学部附属教育実践総合センター 地域実習担当の齊城勝美、高田聡、横尾博邦の3名の特任教授が担当しています。